

「21世紀の薬学教育・研究をリードする、先端的大学の創造」を“新キャンパス構想”に掲げ、新しい薬学教育にチャレンジする東北薬科大学（宮城県仙台市）に来年2月、その中核となる新教育研究棟が完成する。来年4月からの6年制学生の入学を機に、最先端・専門的知識ばかりでなく「強い意志と柔らかな心を持つ人材」を、新しいキャンパスで育成していく方針だ。



地上10階建てと6階建てのツインタワーが特徴の新教育研究棟

東北薬科大学 新教育研究棟が 来年2月に完成

“新キャンパス構想”のランドマーク

21世紀の薬学をリード

東北薬大は、昭和14（1939）年に「東北薬学専門学校」として発足、終戦後の昭和24（1949）年に東北薬科大学として開学した。建学の基本理念は、「強い意志と柔らかな心を持つ人材、医療現場からの要請にしっかりと応え、社会に貢献できる人材を輩出する」こと。卒業者は既に2万人近くを数え、東北・北海道を初め全国各地、様々な領域で活躍している。

『学生記者』募集のお知らせ

薬事日報・薬学生新聞は、薬学生記者を募集します。

学園祭を初め、キャンパス内で行われる様々なイベントのレポート、あるいは学生や教職員を対象とした意識調査の結果などを、薬学生新聞の紙面で発表してみませんか。

テーマは問いません。クラブ活動等の一環として実施したことでも結構です。採用者には原稿料を支払います。

希望者は、①記事として掲載したいテーマ②原稿として仕上げられる時期③氏名④大学名及び学年⑤連絡先・電話番号――を明記し、薬事日報社編集局「薬学生新聞担当」（E.Mail:yakugakusei@yakuji.co.jp）までご一報ください。

来年度から薬学6年制がスタートするが、同大は薬剤師を目指す6年制学科「薬学科」（定員は330人）と、薬学の知識を幅広い分野に生かすことができる人材を育成する4年制学科「医薬生命科学科（仮）」（50人）を併置する新体制がとられる。

それら教育の中核となるのが、現在、建設が進められている新教育研究棟だ。来年2月に完成の予定であり、10階建てと6階建ての高層タワーを持つ、新キャンパスのランドマークとなる。これは、「21世紀の薬学教育・研究をリードする先端的大学の創造」をマスタープランとして、施設・設備・環境を一段と充実させる“新キャンパス構想”の一環として取り組まれているもの。

この構想は、平成13（2001）年6月の理事会で決定、その後、マスタープラン精神を生かした形で施設等の建設を進めるため、企業から提案型の計画の提示を受け、建設企業を決める等の具体的な作業を行うと共に、平成14（2002）年5月に新キャンパス構想委員会を立ち上げ、21世紀に向けた先端的大学のあり方を検討している。

実習体制の充実図る

新教育研究棟は創薬科学系、環境衛生学系、医療薬学系、生命科学系、臨床薬理学系といった分野・フロアごとに、研究室がゾーン化される点が大きな特徴である。薬剤師の実務に必要な医療薬学と、それを支える基礎薬学を融合させ、効率的に学習できるよう工夫されている。

2階には、臨床薬理学実習センターが設置される。ここには、薬学生が病院薬局や保険薬局における長期実務実習への確に対応できるように、模擬薬局や模擬病室、D I室、無菌製剤室、TDM室等を備えた実習教育体制が整えられる。また5階には、ポストゲノム研究の拠点となる分子生体膜研究所が設置される予定だ。

このほか、学生教育や生涯教育をサポートする薬学教育センターや、最新の測定機器が設置され、大学で行われている生命科学から創薬科学にわたる最先端の研究を支援する中央機器センターと、ハイテク・リサーチ・センターなども設置される。まさに薬学変革の時代に合わせた、教育研究体制が模索されていく。

引き続き第2期工事に

一方、新キャンパスには、新講義棟が平成8（1996）年に完成している。ここでは、160台のパソコンを配備した情報科学センターが設置されており、全国の薬系大学の中でもトップクラスの充実度を誇っている。

また、来年からは施設整備の第2期工事として、図書館や食堂を含めた厚生施設に着工する計画だ。創立70周年を迎える平成21（2009）年までには、新キャンパス全体が完成予定である。

株式会社国際医薬品臨床開発研究所

CRC募集

募集要項

必要条件 薬剤師 看護師 検査技師の有資格者
勤務地 大阪事業所・東京事業所
勤務時間 8:30～17:30(実働8時間、時差出勤制度あり)
休日 年間120日(社内指定休)
待遇 薬剤師 看護師 年俸4,290,000～ 時間外手当あり。
検査技師 年俸3,710,000～ 時間外手当あり。
各種社会保険完備。通勤交通費(実費支給)。昇給年1回。
応募方法 履歴書(写真要)を郵送ください。
送付先 大阪府吹田市春日4-12-11
千里サンプラザ新館 (担当:高瀬)
東京都新宿区新宿5-15-5
新宿三光町ビル 2階 (担当:国府田)
webサイト <http://www.incrom.jp>

CRCとは治験コーディネーター(Clinical Research Coordinator)の略で、治験に参加する人(被験者)と医師、治験に係る医療機関のスタッフ、治験依頼者(製薬会社)とのパイプ役となり、治験がスムーズに進むように調整(コーディネート)を行うスタッフのことです。

現在、InCROMでは37名のCRCが活躍しております。

主な業務

- 治験参加のための補助説明
- 通院スケジュール管理
- 被験者からの相談窓口業務
- 治験実施医療機関内の治験に携わるチーム内の調整
- 治験依頼者との連絡業務
- 各種書類の作成
- 症例報告書の作成補助

InCROMとは今年で設立22周年を迎える「株式会社国際医薬品臨床開発研究所」(InCROM Insutitute,Inc)であり、治験業界のパイオニアかつ業績No.1の存在として、臨床試験のトータルサポートを行っています。さらに民間中規模病院、各専門領域における臨床試験の経験・知識が豊富な先生方と緊密な業務提携関係を築きあげ、日本の治験における問題点の解決に取り組んでいます。また、医薬品開発の世界規模化に対応し、ロンドンに欧州医薬品臨床開発研究所(EuCROM plc)及び上海に上海医薬品臨床開発有限公司(ShanCROM Ltd)を設立し「日本の医薬品を世界に、世界の医薬品を日本に」を実践し、社会貢献と質の高い臨床試験の実施を目指しています。

InCROM
医療品の未来を見つめ、
たゆまぬ創造と進歩をめざします。

